

SOIL Fellowship Program(Stage for Originally, Innovation, and Leadership)

(実施団体:一般社団法人 緊急事態舞台芸術ネットワーク)

目的・目標

日本の舞台芸術には古来より我が国の風土のなかで育まれてきた古典芸能から、近代になって海外から受け入れて発展したミュージカルや現代演劇など実に多様な表現のジャンルが並存している。また民間の活発な営みと、行政が支える非営利の活動とが地続きに繋がる、日本特有の豊かな舞台芸術の土壌を形作ってきた。この事業では、これまで培ってきた伝統と表現の多様性を日本の舞台芸術の強みとして、日本のプロデューサーをはじめとしたクリエイターが誇りをもって海外へと挑戦できるスキームを構築することを旨とする。また、国際的なフェスティバルへの参加や国内での成果発表を通して、日本の舞台芸術作品やクリエイターの魅力を発信することを推進する。これまでなかった舞台芸術の横断的なネットワークを活用して知見を蓄積・共有し、我が国の舞台芸術産業の振興と舞台芸術界における新たなエコシステムを創り出すことを目的とする。

(分野・ジャンル)

・舞台芸術

(渡航先)

・イギリス(エディンバラ)

(連携・協力体制)

・British Council

・Fringe Society ほか

概要

国際的な作品を産み出す創作環境の基盤を構築し、3つのプログラムを通してグローバルな視座を持った次世代のプロデューサーを育成する。

- ① 国際的な学びの機会を創出するラーニングプログラム
- ② 海外の舞台芸術マーケットへ展開することを目指す派遣プログラム (エディンバラフェスティバル)
- ③ 国内業界関係者への成果発表と国内における作品流通を目的としたピッチ (プレゼンテーションや作品のデモパフォーマンスなど) イベントの開催

3年目までの取組

初年度は基盤構築として協力団体との関係性を深めつつ、各プログラムの持続可能な運営と成果の最大化を目指し土台作りを行う。2年目以降は、今後の活動の改善と拡大を見据えて海外派遣を中心とした業界交流、人材育成、機会創出のプログラムを実施する。



5年目までの取組

派遣したプロデューサーの実績をもとに国際的な連携の強化を実施し、より効果的な育成プログラムの確立を目指す。エディンバラを中心として、諸外国における日本作品の認知度の向上を図るとともに、国内で国際交流イベントを開催し、世界のバイヤーやプロデューサーが集う場の礎を創出する。



中核となるクリエイターやアドバイザー

Michelle Rocha
Factory Internationalツアーリング部門責任者。パフォーミングアーツカンパニー「Quarantine」理事会副議長。

成果目標 (見込)	目標値
企画段階から海外公演等に登用される若手クリエイター等の数	15人
国内外の団体・企業等との連携数(連携団体数、事業提携数、拠点形成数など)	10件
プロジェクトに関わる海外アーティスト・キュレーター等の数	10人
国内外で展開される公演・展示等の数	8回
国内外で展開される公演・展示等の入場者数	1,200人

育成対象者 : 25人 (見込み)

プロデューサー、フェスティバルディレクター
選考会を実施し、日本独自の文化的価値を世界に広め、国際的な市場拡大に貢献できる人材を育成する。

【補足資料】

